

**WONDERFUL  
JOYFUL  
50<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY**

ジョイフル本田のファンをつくる！！

2026年6月期第3四半期  
決算補足資料

株式会社ジョイフル本田（証券コード 3191）

2026年5月1日

当社は、2025年9月30日に株式会社本田の全株式を取得し子会社化いたしました。

本件株式取得により、株式会社本田を当社の連結子会社とし、2026年6月期より単体決算から連結決算に移行しているため、前期末および前年同期との比較については、2025年6月期の単体決算の数値との比較とさせていただきます。

なお、2025年12月20日をみなし取得日としており、2026年6月期においては、株式会社本田の2025年12月21日から2026年6月20日までの業績を含むものといたします。

## 1 連結売上高の通期予想に対する進捗率は73.2%、通期業績予想に沿って推移

- 単体売上高 前期比 累計：99.1% 第3Q単独：100.3%
- 第3Qより開始した価格訴求施策の奏功により売上高が伸長し、新店舗も順調に推移

## 2 アークランズ株式会社と経営統合に関する基本合意書締結

- 「専門店集合型ホームセンター構想」を掲げ、賛同するホームセンター各社との連携強化を目指す
- 店舗網の拡大、店舗運営や商品開発力の向上など、お客さまにとってのメリットを一層強化

# P/L (連結)

JOYFUL HONDA

	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	通期予想	前期比		通期予想 進捗率	コメント (対前期比)
				金額	%	%	
売上高	95,421 (100.0)	<b>95,937</b> <b>(100.0)</b>	131,000 (100.0)	+516	100.5	73.2	■ 株式会社本田 売上高 1,412百万円
売上総利益	30,145 (31.6)	<b>29,988</b> <b>(31.3)</b>	41,100 (31.4)	△156	99.5	73.0	■ 株式会社本田 売上総利益率 26.3%
営業収入	5,019 (5.3)	<b>5,245</b> <b>(5.5)</b>	7,000 (5.3)	+225	104.5	74.9	■ テナント賃料の増加等により増収
営業総利益	35,164 (36.9)	<b>35,233</b> <b>(36.7)</b>	48,100 (36.7)	+69	100.2	73.3	
販管費	26,801 (28.1)	<b>27,832</b> <b>(29.0)</b>	39,300 (30.0)	+1,031	103.8	70.8	
営業利益	8,363 (8.8)	<b>7,401</b> <b>(7.7)</b>	8,800 (6.7)	△962	88.5	84.1	
経常利益	9,188 (9.6)	<b>8,303</b> <b>(8.7)</b>	10,000 (7.6)	△885	90.4	83.0	
税引前純利益	9,080 (9.5)	<b>10,338</b> <b>(10.8)</b>	11,900 (9.1)	+1,257	113.9	86.9	■ 負ののれん発生益 19.4億円 (特別利益)
純利益	6,237 (6.5)	<b>7,703</b> <b>(8.0)</b>	8,800 (6.7)	+1,466	123.5	87.5	

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

# P/L (ジョイフル本田単体)

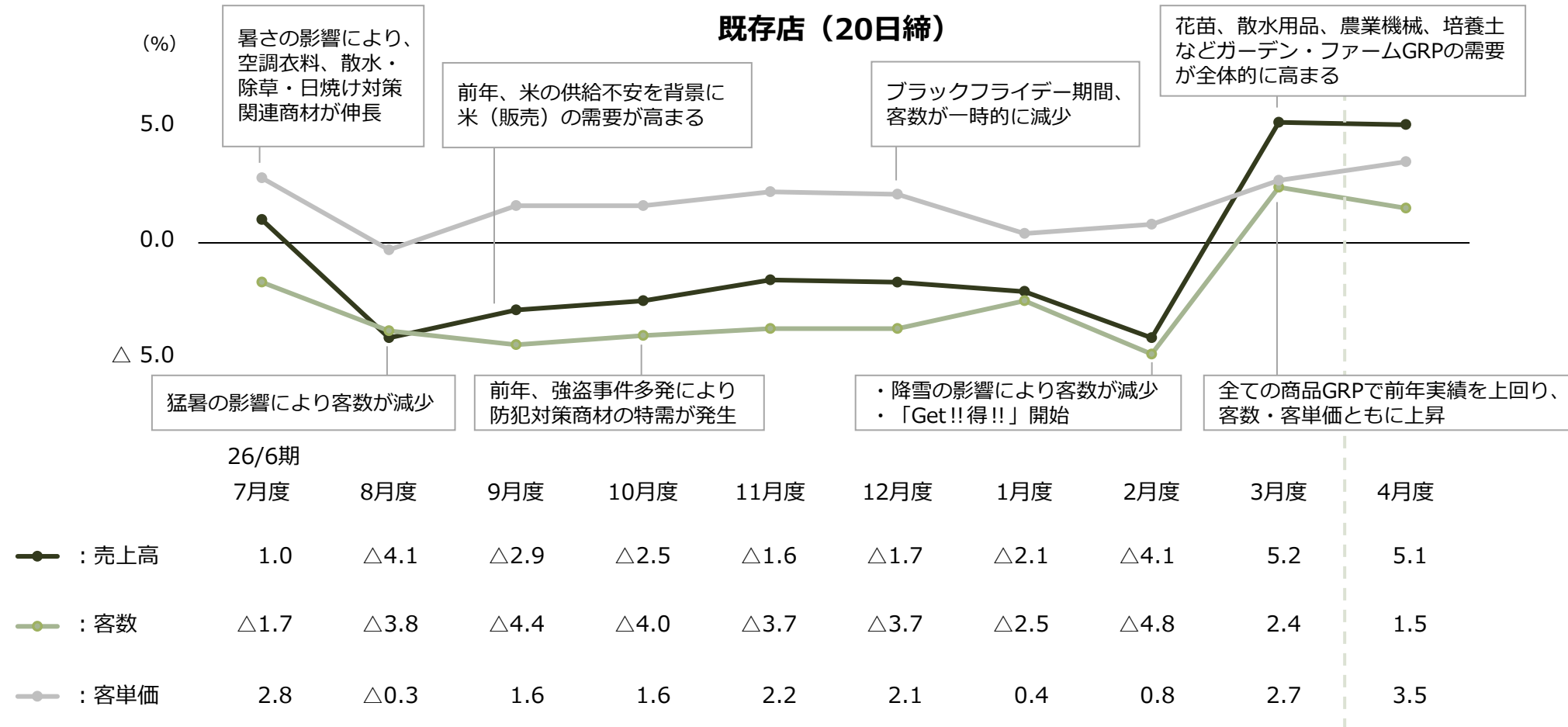
JOYFUL HONDA

	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	前期比		コメント (対前期比)
			金額	%	
売上高	95,421 (100.0)	94,595 (100.0)	△825	99.1	■ 第3Q累計 既存店 98.6%、 第3Q単独での全店売上高は前期比 100.3%
売上総利益	30,145 (31.6)	29,628 (31.3)	△516	98.3	■ 第3Q単独 前期比 99.6%、価格訴求による 減少があるものの第4Qにて販促奨励金あり
営業収入	5,019 (5.3)	5,236 (5.5)	+216	104.3	■ テナント賃料の増加等により増収
営業総利益	35,164 (36.9)	34,865 (36.9)	△299	99.1	
販管費	26,801 (28.1)	27,423 (29.0)	+622	102.3	■ 新規出店に伴う費用と既存店の修繕費が増加
営業利益	8,363 (8.8)	7,441 (7.9)	△922	89.0	
経常利益	9,188 (9.6)	8,337 (8.8)	△851	90.7	
税引前純利益	9,080 (9.5)	8,431 (8.9)	△649	92.8	
純利益	6,237 (6.5)	5,793 (6.1)	△444	92.9	

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

# 既存店月次売上高の対前年同月比（ジョイフル本田単体）

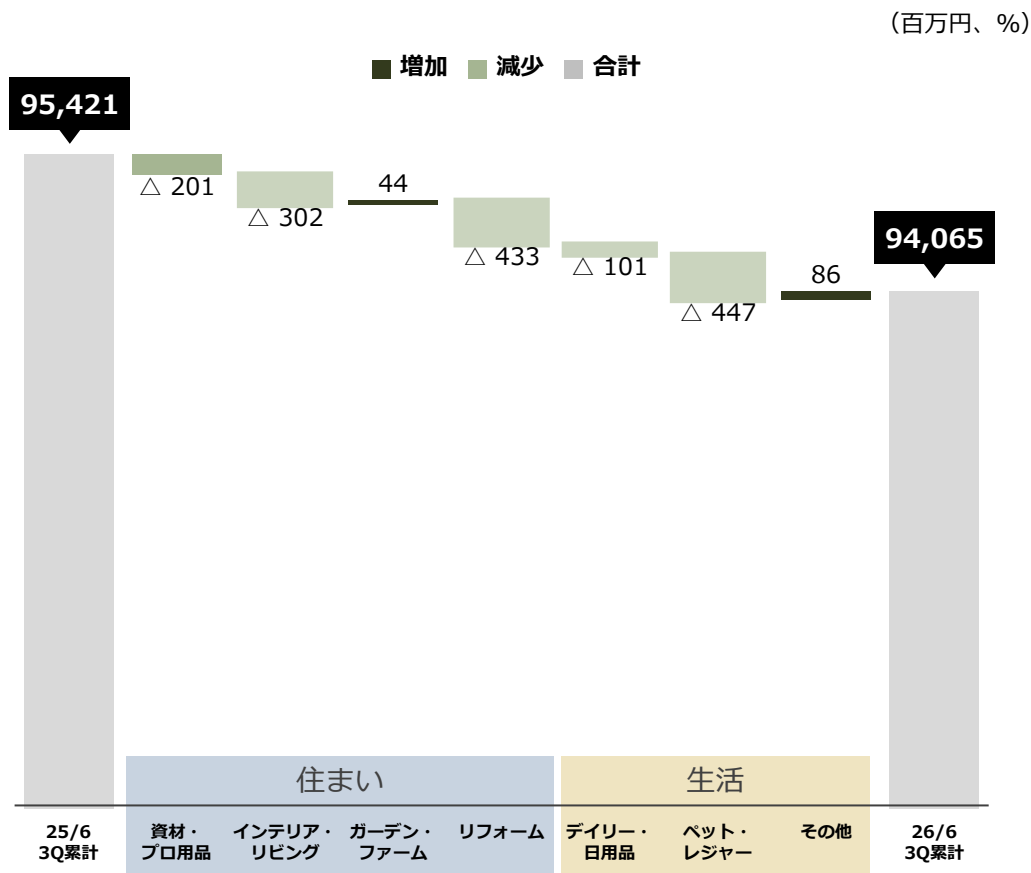
- 第3Qで開始した価格訴求施策「Get!!得!!」が客数増加に寄与、第4Qでは創業50周年記念の販促も実施
- 2月度は降雪の影響により客数が減少、3月度は価格訴求施策のほかガーデン・ファームGRPが好調



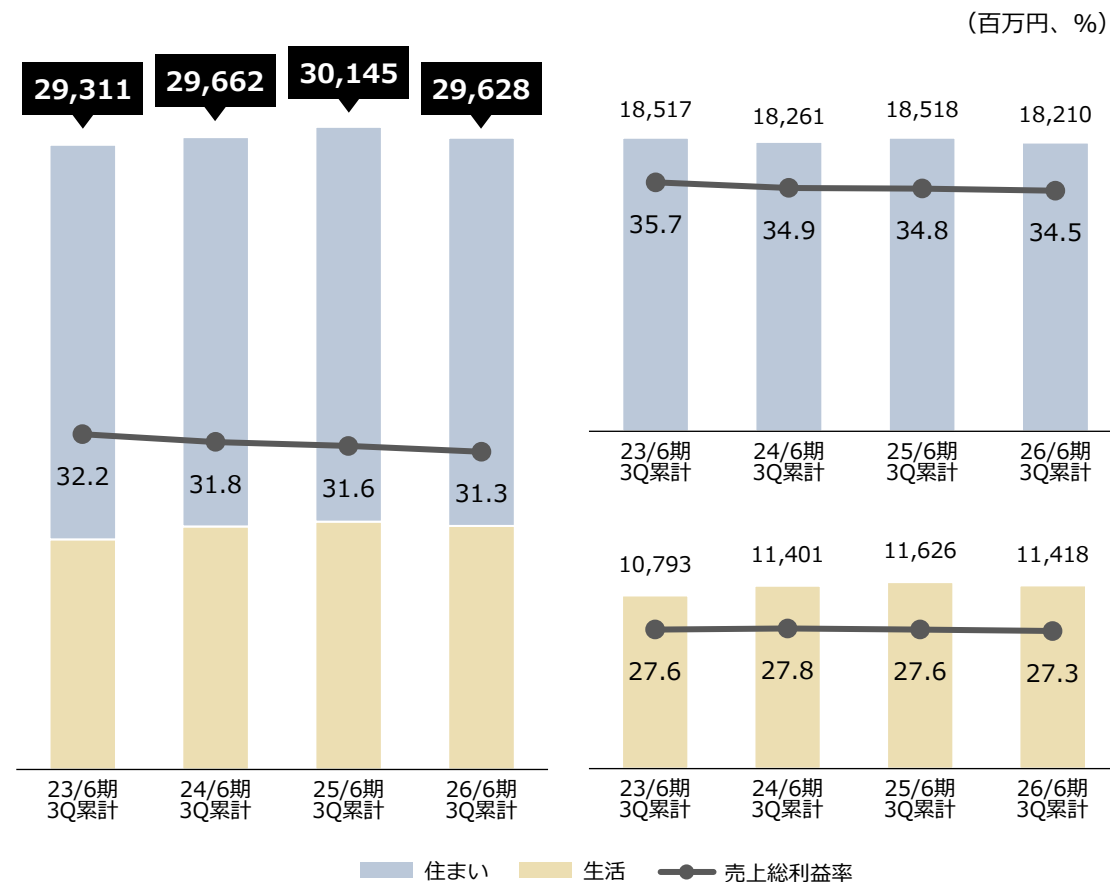
# 商品グループ別売上高および売上総利益（ジョイフル本田単体） JOYFUL HONDA

- ガーデン・ファームGRPが大きく伸長（第3Q単独売上高 前期比 102.7%）、累計でも前年を上回る
- 売上総利益率の低下要因は、木材・建築資材の売上高減少および価格訴求品の売上高比率増加によるもの

## 売上高の増減（既存店）



## 売上総利益の推移

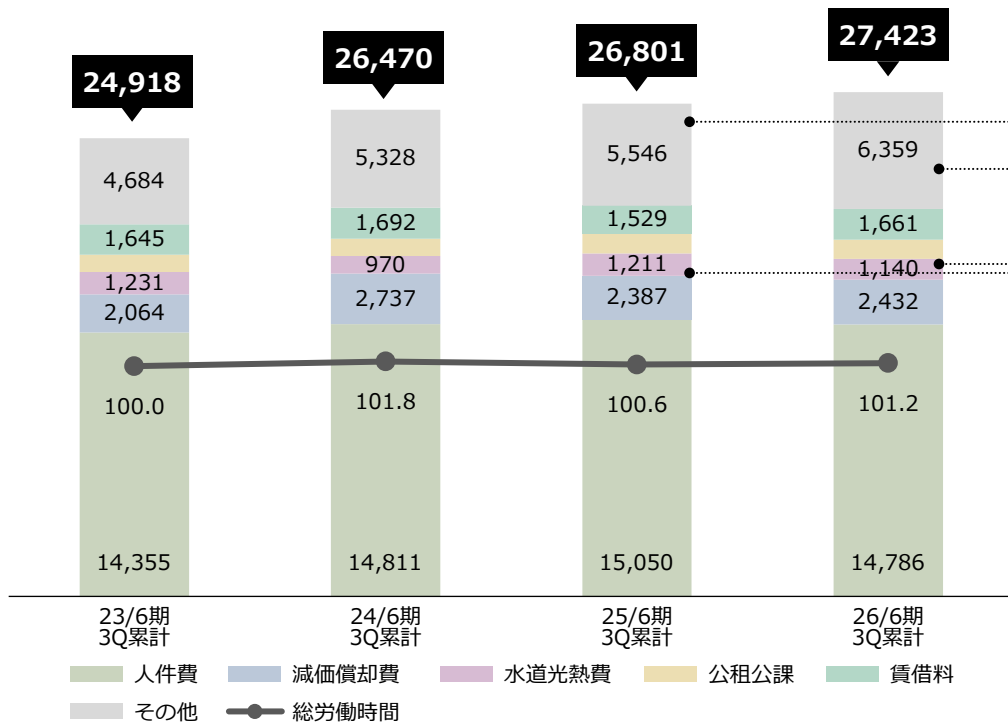


# 販管費と総労働時間の推移（ジョイフル本田単体）

- 各種運営コストの変動を踏まえ、販管費全体の適切なコントロールを継続
- 専門店の積極的な出店により賃借料が増加
- 中長期的な事業成長に向けて、人材の確保・定着を目的とした人的資本への投資は課題だと認識

## ■ 販管費と総労働時間の推移

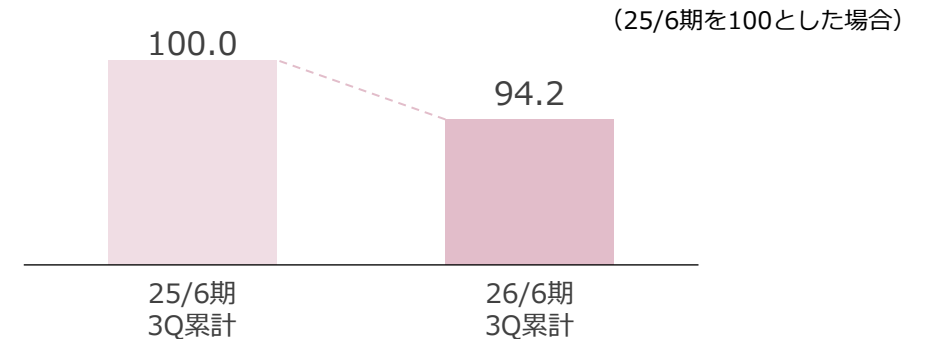
※ 総労働時間23/6期比 +1.2%（23/6期を100とした場合）（百万円、%）



## ■ 主な販管費（その他）前期比

	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	前期比
管理諸費	229	387	+158
修繕費	396	647	+251
保安管理費	1,402	1,574	+172
		⋮	
その他合計	5,546	6,359	+813

## ■ 水道光熱費の増減



\* 広告宣伝費は「その他」に含む

\* これまで外注作業費を人件費に組み込んでおりましたが、今期資料よりその他（販売費）に組み入れた数値を使用します

(百万円)

		25/6期 3Q末 (単体)	25/6期 期末 (単体)	26/6期 3Q末	前年 同期末比	前期末比
資産の部	流動資産	58,902	59,948	57,062	△1,839	△2,885
	現金及び預金	28,937	32,256	24,020	△4,917	△8,235
	売掛金*1	4,524	4,654	5,153	629	499
	商品*2	20,927	20,510	24,197	3,270	3,687
	固定資産	104,195	105,625	109,133	4,938	3,508
	資産合計	163,098	165,574	166,196	3,098	622
負債・純資産の部	流動負債	19,403	21,989	21,211	1,808	△777
	買掛金	7,208	7,114	8,553	1,345	1,439
	短期借入金	0	0	0	—	—
	1年内返済予定の長期借入金	4,937	4,890	4,718	△218	△172
	固定負債	22,529	21,792	19,549	△2,980	△2,243
	長期借入金	11,028	9,794	6,309	△4,718	△3,484
	負債合計	41,932	43,782	40,760	△1,171	△3,021
	株主資本合計	119,768	120,290	123,533	3,764	3,242
純資産合計	121,166	121,791	125,435	4,269	3,643	
負債・純資産合計	163,098	165,574	166,196	3,098	622	

2025年9月30日に株式会社本田の全株式を取得し子会社化いたしました。

本件株式取得により、株式会社本田を当社の連結子会社とし、2026年6月期より単体決算から連結決算に移行しているため、前期末および前年同期との比較については、2025年6月期の単体決算の数値との比較とさせていただきます。

なお、2025年12月20日をみなし取得日としており、2026年6月期においては、株式会社本田の2025年12月21日から2026年6月20日までの業績を含むものといたします。第2QはB/Sのみ連結し、第3Q以降の業績をP/Lに反映いたします。

\*1：売掛金には契約資産、受取手形を含む

\*2：商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む

# B/S (ジョイフル本田単体)

JOYFUL HONDA

(百万円)

		25/6期 3Q末	25/6期 期末	26/6期 3Q末	前年 同期末比	前期末比	コメント (対前期末比)
資産の部	流動資産	58,902	59,948	53,853	△5,049	△6,095	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現金及び預金が約100億円減少</li> <li>・ 税引前利益 + 8,431百万円</li> <li>・ たな卸資産の増加 △ 2,466百万円</li> <li>・ 固定資産の取得支出 △ 3,764百万円</li> <li>・ 長期借入金返済 △ 3,656百万円</li> <li>・ 配当金の支払 △ 4,463百万円</li> <li>・ 関係会社株式の取得支出 △ 1,865百万円</li> <li>・ 法人税等の納付 △ 3,187百万円</li> </ul>
	現金及び預金	28,937	32,256	22,243	△6,693	△10,012	
	売掛金*1	4,524	4,654	4,952	427	297	
	商品*2	20,927	20,510	22,977	2,050	2,466	
	固定資産	104,195	105,625	107,978	3,782	2,352	
	資産合計	163,098	165,574	161,831	△1,266	△3,742	
負債・純資産の部	流動負債	19,403	21,989	19,857	454	△2,131	
	買掛金	7,208	7,114	8,161	953	1,047	
	短期借入金	0	0	0	—	—	
	1年内返済予定の長期借入金	4,937	4,890	4,718	△218	△172	
	固定負債	22,529	21,792	18,510	△4,018	△3,281	
	長期借入金	11,028	9,794	6,309	△4,718	△3,484	
	負債合計	41,932	43,782	38,368	△3,563	△5,413	
	株主資本合計	119,768	120,290	121,622	1,853	1,331	
純資産合計	121,166	121,791	123,463	2,296	1,671	・ 純資産が約16億円増加	
負債・純資産合計	163,098	165,574	161,831	△1,266	△3,742		

\*1: 売掛金には契約資産を含む

\*2: 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む

# 設備投資および減価償却費、キャッシュ・フロー（連結）

JOYFUL HONDA

## 1. 設備投資および減価償却費

	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	コメント	26/6期末予想
設備投資	6,962	899	1,208	3,303	■ 株式会社本田への投資も順調に推移	9,300
減価償却費	2,064	2,737	2,387	2,444	■ 第4Qに専門小売店を3店舗出店予定	3,400

## 2. キャッシュ・フロー

	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	主な内訳
営業活動によるCF	6,597	7,563	4,586	3,613	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 税引前当期純利益 +10,338百万円</li> <li>■ 負ののれん発生益 △1,940百万円</li> <li>■ 法人税等の支払額 △3,188百万円</li> </ul>
投資活動によるCF	△3,307	△1,679	△1,492	△3,893	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有形・無形固定資産の取得支出 △3,764百万円</li> <li>■ 関係会社株式の取得による支出(連結調整後) △210百万円</li> </ul>
財務活動によるCF	△8,565	△10,423	843	△8,136	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期借入金の返済支出 △3,656百万円</li> <li>■ 配当金の支払 △4,463百万円</li> </ul>
現金及び現金同等物の増減額	△5,275	△4,539	3,937	△8,417	■ 上記CFの合計
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	96	—	
現金及び現金同等物の期末残高	37,206	30,444	31,453	23,800	

# 設備投資および減価償却費、キャッシュ・フロー（ジョイフル本田単体） JOYFUL HONDA

## 1. 設備投資および減価償却費

	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	コメント	26/6期末予想
設備投資	6,962	899	1,208	3,288	■ 経営統合に関する基本合意書の締結を踏まえ、投資効率及び優先順位を当社として再精査中	9,000
減価償却費	2,064	2,737	2,387	2,432	■ 第4Qに専門小売店を3店舗出店予定	3,400

## 2. キャッシュ・フロー

	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計	主な内訳
営業活動によるCF	6,597	7,563	4,586	3,673	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 税引前当期純利益 + 8,431百万円</li> <li>■ 棚卸資産の増加 △ 2,466百万円</li> </ul>
投資活動によるCF	△3,307	△1,679	△1,492	△5,549	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有形・無形固定資産の取得支出 △ 3,764百万円</li> <li>■ 関係会社株式の取得による支出 △ 1,865百万円</li> </ul>
財務活動によるCF	△8,565	△10,423	843	△8,136	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期借入金の返済支出 △ 3,656百万円</li> <li>■ 配当金の支払 △ 4,463百万円</li> </ul>
現金及び現金同等物の増減額	△5,275	△4,539	3,937	△10,012	■ 上記CFの合計
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	96	—	
現金及び現金同等物の期末残高	37,206	30,444	31,453	22,205	

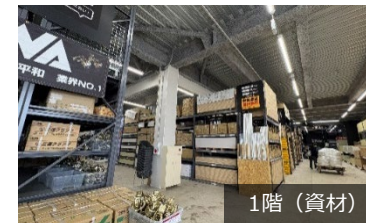
## Ⅰ 出店状況

### 26/6期出店：5店舗

1Q	Pet's CLOVER 柏の葉店
2Q	本田屋 上尾日の出店
3Q	本田屋 八潮西袋店 ジョイフル本田資材館 千葉浜野町店
4Q	<b>新業態</b> ジョイフル本田資材館 FARM GARDEN+ 栃木箱森町店

### 今後の出店予定：2店舗

4Q	ジョイフル本田資材館 北本中丸店 本田屋 東久留米八幡町店
----	----------------------------------



### 「ジョイフル本田資材館 千葉浜野町店」

- ・「ジョイフル本田資材館」2号店
- ・専門性の追求が取引先からの高い評価につながり、人気商品や限定商品を含む幅広い商品の取り扱いを実現



「DIAMOND HOME CENTER 第23回 STORE OF THE YEAR 2026※」にて、「ジョイフル本田資材館 伊勢崎塚塚町店」が第6位を獲得。プロショップの中で最も高い評価を得ました。

※(株)ダイヤモンド社、「ダイヤモンド・ホームセンター 2026年4月15日号」,(株)ダイヤモンド・リテイルメディア,2026,p61

26/6期 3Q未実績	26/6期 4Q出店予定	中計期間累計 (予定含む)	中計期間目標
4	3	7	20~30

### ■ 新業態 ジョイフル本田資材館 FARM GARDEN+



「ジョイフル本田資材館 FARM GARDEN+ 栃木箱森町店」

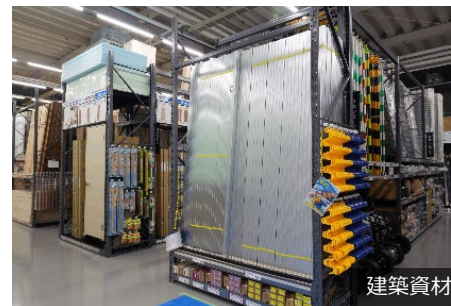
#### 資材館

本田屋で培った工具・作業服などのプロ用品の品揃えに木材や建築資材などマテリアル商材を付加



#### 農業・園芸関連商品

プロ農家も納得の肥料・土・農薬・ハウス部材などの農業資材や園芸資材、花・野菜苗などを展開



- ・ 本田屋+資材というジョイフル本田資材館のフォーマットに当社の強みである農業・園芸関連商品を組み合わせた業態の1号店
- ・ 建設・設備・リフォーム分野におけるプロフェッショナルの多様なニーズに対応した商品を幅広く取り扱う
- ・ 特に農業関連の品揃えを充実。農薬散布用ドローンや農業用トラクターの販売やタイヤ交換の受付を新たに導入し、これに合わせて田植え用足袋や麦わら帽子などの品揃えを拡充
- ・ 植物苗、園芸資材など、個人の家庭菜園分野の商品も充実

## 既存店への投資



改装後（外装）

- ・荒川沖店のペット館改装が完了し、Pet's CLOVERとしてリニューアルオープン（2026年2月）
- ・荒川沖店のペット関連売上高前期比 **216.8%**（3月度実績）



改装後（外装）

- ・君津店のガーデン館の改装が完了し、リニューアルオープン（2026年3月）



改装後（売場提案）



改装後（内装）

- ・ひたちなか店 デイリー・日用品、インテリアエリア改装（2026年3月）

## 今後の予定

ジョイフル本田資材館 伊勢崎葦塚町店 増床

ジョイホン吉岡店 ペット関連エリア 改装

## サービスサイトを刷新



トピックス、キャンペーン、イベント、サービス等を一覧で配置し、お客様により情報が伝わりやすい構成にリニューアル

サービスサイト : <https://www.joyfulhonda.com/>

「ジョイフル本田リフォーム」から「JOYFUL HOME」へ



## 【変更日】

新事業年度（2026年6月21日）より

## 【屋号変更の背景と目的】

当社のリフォーム事業はこれまで、住まいの不具合解消に向けた修繕・改修を中心に、住環境の改善や住まいづくりに関する各種サービスを展開してきました。

近年は、単に「直す」だけでなく、「暮らしをどうしたいか」「人生をどうしたいか」といったさまざまなニーズに応じた提案が求められています。このような背景を踏まえ、変化するお客様の課題に対して一層の価値提供を行うため、当社はリフォーム事業の再定義を行うことといたしました。

## 【当社リフォーム事業の強み】

ホームセンターに併設されたリフォーム事業として、商品や資材、集客力に加え、豊富な商品知識と修繕提案力を掛け合わせた総合力を強みとしています。

今後は、商品の比較・展示にとどまらず、暮らしのイメージを具体的に体感できる空間提案型のショールームへと進化させていきます。



- ジョイフル本田とアークランズが経営統合し、日本一を目指す新たなホームセンター運営会社が誕生
- 「専門店集合型ホームセンター構想」を掲げ、両社の構想に賛同するホームセンター各社との連携を拡大

## Ⅰ 経営統合の背景・目的

**JOYFUL HONDA**

**ARCLANDS**

両社は、個別性や地域性を追求したお客さま本位の店舗運営を根源としてきた

経営統合後

店舗網

大型店舗運営能力

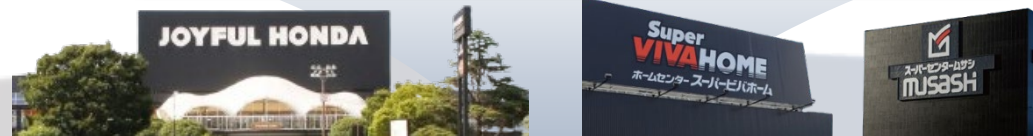
専門店運営のノウハウ

商品開発力

豊富な品ぞろえと専門性の高い  
サービスに強み

専門性の高い店舗やサービスを持つ地域一番店が集う

**「専門店集合型ホームセンター構想」**



共同持株会社

品質を重視した商品を低価格で  
提供、魅力ある店舗づくりに強み

**日本一のホームセンターを目指す**

- 店舗網の拡大、店舗運営や商品開発力の向上など、お客さまにとってのメリットを一層強化していく

┆ 両社の方向性と本経営統合により期待される効果

## JOYFUL HONDA

豊富な品ぞろえと専門性の高いサービスに強み

プロ向け資材のほか、ガーデン・ファーム、リフォーム、インテリア・リビング、ペット・レジャーなど幅広い分野を取り扱い



## ARCLANDS

品質を重視した商品を低価格で提供、魅力ある店舗づくりに強み

ホームセンターを中核に、リフォーム、ペット、アート&クラフトなどの小売事業に加え、外食、卸売、不動産など幅広い事業を全国で展開



経営統合により期待される効果（シナジー）

1 商品展開および調達機能の連携



3 店舗開発・運営ノウハウの共有



2 顧客基盤・マーケティング機能の連携



4 事業基盤機能の最適化



統合後の姿

両社の経営資源を最大限に活用し、中長期的な収益力の向上と企業価値の最大化を図る

## Ⅰ 両社の方向性と本経営統合により期待される効果

1

### 商品展開および 調達機能の連携



- 両社の強みを活かしたプライベートブランド商品およびナショナルブランドとの共同開発専売商品の相互供給・販売を推進し、商品力の強化と売上高の拡大を図ります。
- 両社で共通する商品の仕入先を集約・一元化することにより、スケールメリットを活かした仕入原価の低減・収益性の向上を目指します。

2

### 顧客基盤・ マーケティング機能 の連携



- リアル(店舗)とデジタル(EC・アプリ等)のシームレスな連携やデジタル技術を活用したマーケティング高度化を通じて、お客さま一人ひとりに最適な商品・サービスの提案を実現します。
- 両社がこれまで培ってきた顧客基盤や多様な顧客接点を有機的に結び付けることで、ブランド横断での回遊・利用を促進し、店舗集客力およびオンラインを含む購買頻度の向上を図ります。
- 以上の取り組みを通じて両社の経済圏を拡大し、お客さまに継続的に選ばれるプラットフォームの構築を目指します。

3

### 店舗開発・運営 ノウハウの共有



- 両社が有する大型店舗の運営および専門店の店舗開発並びにリフォーム事業・ペット事業に関する専門的な知見を相互に共有し、更なる店舗オペレーションの磨きこみや売上高・収益性の向上を目指します。
- 両社の専門性を共有し、特定領域に特化した新フォーマットの専門店開発を図ります。

4

### 事業基盤機能の 最適化



- 各種ITシステム、決済機能、物流ネットワークや商品在庫、本社管理機能等の共有・統合・最適化を検討し、スケールメリットを最大化するバリューチェーンの確立を目指します。
- 両社の人材採用・育成・評価制度の共有・統合を検討し、更なる優秀な人材の育成を図ります。

## Ⅰ 両社の概要

### 共同持株会社 (単純合算)

総資産	511,787百万円	従業員数 (連結)	19,365名
売上高	470,121百万円	店舗数	399店舗
当期純利益	16,415百万円		

ホームセンター業界  
売上高 **第4位**

### JOYFUL HONDA

所在地：茨城県土浦市  
設立：1975年12月

総資産	165,574百万円	従業員数 (連結)	4,786名
売上高	128,980百万円	店舗数	32店舗
当期純利益	8,327百万円		
時価総額	138,540百万円		

### ARCLANDS

所在地：新潟県三条市  
設立：1970年7月

総資産	346,213百万円	従業員数 (連結)	14,579名
売上高	341,141百万円	店舗数	367店舗
当期純利益	8,088百万円		
時価総額	118,138百万円		

※アークランドサービス運営店舗を除く

※総資産、売上高、当期純利益：株式会社ジョイフル本田は2025年6月20日時点、アークランズ株式会社は2026年2月28日時点 ※時価総額：2026年4月13日終値

※従業員数：株式会社ジョイフル本田は2026年3月20日時点、アークランズ株式会社は2026年2月28日時点 ※店舗数：株式会社ジョイフル本田は2026年5月1日時点、アークランズ株式会社は2026年2月28日時点

# P/L (四半期・ジョイフル本田単体)

JOYFUL HONDA

	26/6期 1Q	26/6期 2Q	26/6期 3Q	前期比	
				金額	%
売上高	32,102 (100.0)	32,044 (100.0)	<b>30,448</b> (100.0)	+91	100.3
売上総利益	10,094 (31.4)	10,092 (31.5)	<b>9,441</b> (31.0)	△36	99.6
営業収入	1,747 (5.4)	1,717 (5.4)	<b>1,771</b> (5.8)	+68	104.0
営業総利益	11,842 (36.9)	11,810 (36.9)	<b>11,212</b> (36.8)	+32	100.3
販管費	9,133 (28.5)	9,187 (28.7)	<b>9,102</b> (29.9)	+397	104.6
営業利益	2,708 (8.4)	2,622 (8.2)	<b>2,109</b> (6.9)	△364	85.3
経常利益	3,007 (9.4)	2,925 (9.1)	<b>2,404</b> (7.9)	△337	87.7
税引前純利益	2,991 (9.3)	2,978 (9.3)	<b>2,461</b> (8.1)	△220	91.8
純利益	2,073 (6.5)	2,011 (6.3)	<b>1,707</b> (5.6)	△136	92.6

注：単位は百万円、%、( )内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

# 商品グループ別売上高および構成比の推移（ジョイフル本田単体）

JOYFUL HONDA

	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	25/6期 3Q累計	26/6期 3Q累計
住まい	51,936 (57.0)	52,374 (56.1)	53,277 (55.8)	<b>52,736</b> (55.7)
資材・プロ用品	16,460 (18.1)	16,982 (18.2)	17,789 (18.6)	<b>17,919</b> (18.9)
インテリア・リビング	13,347 (14.7)	13,310 (14.3)	13,335 (14.0)	<b>13,039</b> (13.8)
ガーデン・ファーム	11,481 (12.6)	11,498 (12.3)	11,416 (12.0)	<b>11,473</b> (12.1)
リフォーム	10,647 (11.7)	10,581 (11.3)	10,736 (11.3)	<b>10,303</b> (10.9)
生活	39,145 (43.0)	40,972 (43.9)	42,143 (44.2)	<b>41,859</b> (44.3)
デイリー・日用品	27,039 (29.7)	27,858 (29.8)	28,841 (30.2)	<b>28,742</b> (30.4)
ペット・レジャー	11,336 (12.4)	12,373 (13.3)	12,564 (13.2)	<b>12,295</b> (13.0)
その他	769 (0.8)	740 (0.8)	736 (0.8)	<b>821</b> (0.9)
合計	91,082	93,346	95,421	<b>94,595</b>

注：単位は百万円、%、（ ）内は売上高比率、百万円未満切り捨て、小数点以下第2位四捨五入

## 株式会社ジョイフル本田（証券コード 3191）

本社	茨城県土浦市富士崎一丁目16番2号
設立	1975年12月15日
資本金	120億円
売上高	1,289億円* <sup>1</sup>
従業員数	4,569名（うち正社員1,848名）* <sup>1</sup>
代表者	平山 育夫（代表取締役社長）
事業内容	ホームセンター事業、住宅リフォーム事業
店舗展開	ホームセンター 17店舗、専門店 15店舗
出店エリア （ホームセンター数/専門店数）	千葉県（6/5）、茨城県（4/1）、群馬県（3/2）、埼玉県（1/3）、栃木県（2/2）、東京都（1/2）
関連会社	株式会社MTJフィットネス、株式会社ジョイフルエーカー

\*1 2025年6月期末の数値

## 将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2026年5月1日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【IRに関する問い合わせ先】

広報・IR部 E-mail : 3191ir@joyfulhonda.co.jp  
電話 : 029-822-2215 (代)